

プログラム名 (40字以内)	古い地震波形を読みとってみよう: DigitSeis入門		
団体名/所属	地震研究所		
活動区分	研究室体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	8人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2027/2月～3月のうち2日程度を予定 (実施日は参加学生と相談のうえ決定します)	主な活動予定場所	地震研究所(オンラインも併用)
プログラム実施の目的	地震の古記録の活用方法をまなびます。対象は1980年代以前の紙に記録された地震波形です。		
具体的な内容(800字程度)	<p>キーワード:地震学、地球科学、資料保存、アーカイブ</p> <p>近代的な地震学の開始以来、地震(地面の揺れ)のようすをなるべく正確に知ろうと、さまざまな地震計が開発され、観測に用いられてきました。記録方式については、現在ではデジタルデータとして記録・保存されていますが、1980年代までは、紙に記録するのが主流でした。この紙に記録された記録(波形)＝地震の古記録は、当時発生した地震に関する情報が詰まっています。このような古記録が、東京大学地震研究所にも、国内外の大学・研究機関にも大量に保管されており、分析されるのを待っています。</p> <p>このような古記録に描かれた波形をデジタルデータに変換すると、現代的な分析手法を適用することができるようになります。この研究室活動では、DigitSeisというソフトウェアを使って、古記録のデジタルデータ化を体験します。これを通して、古記録の活用や保全について考えていただければと思います。地震波形の扱いなど地震学の基本的な事柄や、研究資料の補完・保全についても解説できればと思います。</p> <p>地震学やプログラミングの専門知識は必要ありません。地震や地球科学に興味のある方はもちろん、研究活動や資料保存・アーカイブに関心のある方も歓迎します。</p> <p>実習にはPCを使います。 実施日は受講生と相談して決めたいと思います。</p>		
【総額】参加するための費用	なし		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	なし		
【内訳】参加するための費用(交通費)	なし		
【内訳】参加するための費用(その他)	なし		
奨励金額(予定)	0円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加しない		